

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和 7 年度 第 1 回麻溝地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		麻溝まちづくりセンター 電話 0 4 2 - 7 7 8 - 2 3 8 1 (直通)		
開催日時		令和 7 年 5 月 2 2 日 (木) 1 9 時 0 0 分 ~ 2 1 時 3 0 分		
開催場所		麻溝公民館 大会議室		
出席者	委 員	2 3 人 (別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	2 人 (麻溝まちづくりセンター所長、地域政策担当)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	2 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 あいさつ 2 麻溝地区まちづくり会議会則別表の改正について 3 行政説明 (1) 子育て応援条例について (2) 県道 5 2 号拡幅整備事業の整備状況と今年度の工事予定等について (3) 地中埋設物等調査結果について 4 専門部会について (1) 最終処分場部会 (5 月 2 日実施結果) (2) 道路交通部会の開催 (6 月 1 0 日午後 7 時開催予定) 5 地域活性化事業交付金について ・里山未来デザインプロジェクト@道保川河岸段丘 6 麻溝地区まちづくりを考える懇談会について ・実施の可否及び開催候補日 7 区民会議 (5 月 2 6 日) の出席者について 8 その他 9 閉会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

(◎は会長の発言、○は委員の発言、●は各所管課の発言、
□は地域活性化事業交付金申請団体、■は麻溝まちづくりセンターの発言)

1 会長あいさつ

(1) 会長あいさつ

会議開催にあたり、麻溝地区まちづくり会議 伊藤会長よりあいさつした。

(2) 南区長あいさつ

加藤区長よりあいさつがあった。

2 麻溝地区まちづくり会議会則別表の改正について

麻溝まちづくりセンターより麻溝地区まちづくり会議での自治会連合会から推進するものを1名増員するため、別表の改正について説明した。

= 一同異議なし =

3 行政説明

(1) 子育て応援条例について

資料に基づき、こども・若者政策課より説明があった。

○学校給食の無償化とあるが、小学校1年生のみというのは中途半端ではないか。6年間無償にするような動きはないのか。

●小学校1年生に限定した理由として、1年生に上がる際には学用品の負担が大きくなるためである。東京都では、全ての市区町村で公立小中学校の給食費を無償化しているが、財源が大きくかかることから本市だけで対応するのが難しい状況にある。ただし現在、国の方では学校給食費無償化に向けた検討が進んでいるところであり、そうした動きを注視し、今後の検討を進めていきたい。

○フリースクールなどへ支援とあるが通所するための費用に対する助成か。

●お見込みのとおり。月額2万円を上限にしている。

○中学生への学校給食の無償化について今後期待したい。

●ご意見として受けさせていただく。

○結婚を希望する人への支援とあるが具体的にどのような支援を行うのか。

●婚活イベントの開催や結婚に伴う引っ越し代の支援を想定している。

◎先日、公園課から子育て世代を応援する事業の一つとして麻溝公園にロング滑り台の設置の説明があったので、設置にあたっては子どもや若者の意見も取り込んでほしいという話をした。

(2) 県道52号拡幅整備事業の整備状況と今年度の工事予定等について

資料に基づき、道路整備課より説明があった。

- 線状降水帯などでアンダーパスに水が溜まったとき、水を吐き出すための対策は。
- アンダーパスに流れた水は、アンダーパスの南側に設置するポンプ室へ流れていき、ポンプで吸い上げて、雨水管を通し、鳩川に排水する予定。
- 先行着手区間以外の工区の進捗状況を聞きたい。次の区間については、令和5年度以降、測量などの予備設計を行うと伺っているが。
- 令和5年度に測量を行い、令和6年度に交通管理者やライフラインなど関係機関との協議のための道路の予備設計を行った。今後、協議を進めていく。
- 地域住民の意見も反映してもらいたいのので、関係機関との協議結果が出る前に、地元の見解を聞きながら事業を進めていただきたい。
- これまでは踏切を渡って、麻溝小学校に通っていたが、アンダーパスができることにより、線路付近に住んでいる子どもは、アンダーパスの入口まで大回りしないと線路の下を通ることができないのか。
- アンダーパスの南側に歩道に降りるための階段を、線路を挟んで設置する。

(3) 地中埋設物等調査結果について（清掃施設課）

資料に基づき、清掃施設課より説明があった。

- 今回の調査結果によって麻溝地域の候補地8と9が対象から外れるということはあるのか。
- 今回の調査は、候補地を選定する上での判断材料の一つであるので、この結果をもとに対象から外れるということはない。そのため、津久井地域を含めた候補地は4つ残っている。
- 今年度中に行う作業の内容を教えてください。
- 候補地の絞り込みを今年度前半から進めていく。また、昨年度のまちづくり会議でいただいた要望書のひとつである「行政と地域がともに考える地域振興策を実現すること」に向けた庁内組織をつくる方向で検討を行っている。
- 最終的な候補地の絞り込みはどのように行っていくのか。また、絞り込みにあたっては地域への説明を丁寧に行ってほしい。
- これまで3年間調査を実施した調査結果を踏まえ、4候補地から最も有力な1か所を、今年度中を目標に設定したいと考えており、各地域の皆様との対話を大切にしながら決めていきたい。

4 専門部会について

(1) 最終処分場部会（5月2日実施結果）

令和7年5月2日に実施した最終処分場部会の実施結果について、中島部会長

より説明があった。

(2) 道路交通部会の開催（6月10日午後7時開催予定）

中島部会長より令和7年6月10日に県道52号に係る道路交通部会の開催にあたって、部会員には開催通知等で連絡する旨を伝えた。

5 地域活性化事業交付金について

- ・里山未来デザインプロジェクト@道保川河岸段丘

命と自然が息吹く東沢の会代表から地域活性化事業交付金の申請に係る事業について説明があった。

○活動する具体的な場所は。

□大正坂から大下坂までの斜面緑地。民地については、地主から許可をとっている。

また、一部市の道路があるので、街美化アダプト制度により整備を進める。

○該当する場所は首都圏の近郊緑地になっており、特別保全区域に該当しているが、樹木を伐採するなどは市の許可が必要ではないか。

□水みどり環境課、南土木事務所、その他専門家の方と4者で会議を行っており、保全という形で水みどり環境課から承諾をいただいている。また、整備については、東京都環境公社のプロが直々に指導してくれており、安全面においても役割分担して行っていく。

○整備は定期的に行っているのか。

□月1回から2回で行っている。

○本事業をいつまで行っていくのか。交付金の支給期間が終わったら事業終了されては困る。

○説明してもらったが、何を目標に事業を行いたいのかがよくわからなかった。目的を明確にするべきである。

○活性化事業交付金の申請にふさわしくないのでは。

○昔は生活に欠かせないところであり、子どもの遊び場であった。それが今は世代が変わって放置されている現状がある。里山として再生し、昔のように子どもが遊べるような場所にしてくれるのであれば応援したい。

◎それでは、まちづくり会議として今年度の活動については認めたい。今年度の活動結果として、里山の再生状況や地域の人たちとの連携について報告してもらい、翌年度も活性化事業交付金に当たるのか判断したい。

6 麻溝地区まちづくりを考える懇談会について

- ・実施の可否及び開催候補日

伊藤会長より麻溝地区まちづくりを考える懇談会の開催月について、11月で申

請していたが、議題について現在決まっておらず、11月での開催は難しいことから2月開催の予定で申請する旨を説明。

= 一同異議なし =

7 区民会議（5月26日）の出席者について

令和7年5月26日開催の南区区民会議の出席者について、南区区民会議規則第2条に「区内のまちづくり会議から推薦されたもの」とあるため、出席者をまちづくり会議の委員から1名選出。伊藤会長が出席することとなった。

= 一同異議なし =

8 その他

令和7年5月24日開催のツアー・オブ・ジャパンAMANO相模原ステージについて、麻溝まちづくりセンターより資料を基に説明。

9 閉会

麻溝地区まちづくり会議 境副会長のあいさつにより閉会した。

以 上

麻溝地区まちづくり会議 委員名簿

No.	団体名	委員		まちづくり 会議での役職	出欠
		団体での役職	氏 名		
1	麻溝地区自治会連合会	会長	伊藤 信裕	会長	出
2	麻溝地区自治会連合会	副会長	中島 勝平		出
3	麻溝地区自治会連合会	副会長	白井 幸夫		出
4	麻溝公民館	館長	田村 光弘	副会長	出
5	麻溝地区社会福祉協議会	会長	境 勉	副会長	出
6	麻溝地区民生委員児童委員協議会	会長	栗山 雄一	副会長	出
7	麻溝観光協会	副会長	内田 明		出
8	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	座間 正見		出
9	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	加藤 賢次		出
10	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	箕輪 良市		出
11	麻溝地区老人クラブ連合会	会長	安藤 正義		出
12	麻溝地区青少年健全育成協議会	会長	井上 國雄		出
13	麻溝商工振興会	会長	石原 武		欠
14	麻溝公民館運営協議会	委員	佐藤 文雄		出
15	相模原市スポーツ推進委員	委員	小原 隆		出
16	相模原市青少年指導委員	代表	山口 隆		出
17	相模原市農協麻溝支店運営委員会	委員長	座間 秀行		出
18	相模原市消防団南方面隊第1分団	分団長	川崎 敬一		欠
19	麻溝小学校PTA	会長	井上 雄輔		出
20	夢の丘小学校PTA	会長	川原 剛		出
21	相陽中学校PTA	副会長	木之下 怜香		出
22	当麻地区まちづくり委員会	会長	本多 展克		出
23	学校法人 北里研究所	次長	村川 健一		欠
24	学校法人 女子美術大学	校友室主幹	友部 徳寿		出
25	麻溝地域包括支援センター	管理者	細山 賢太郎		出
26	学校法人光明学園 相模原高等学校	校長	天野 雅秀		出
27	県立相模原支援学校	教頭	蒲原 泰広		欠